

追悼集

石田頼房先生が  
遺したものの、  
伝えるべきもの

〈表紙図〉

倉敷紡績<sup>ます</sup>萬寿工場と職工村計画

(出典 : Yorifusa Ishida, *Japanese Industrial Villages and a Reformist Factory Owner, Planning Perspectives*, Vol.5, No.3, 1991: pp.295-305)

大原孫三郎倉敷紡績社長が欧米のIndustry Villageや従業員福利計画の影響を受け計画した「分散式寄宿舍」「職工村」を含む工場計画。右半分が萬寿第一工場と職工村(1914-15年建設)、左半分が萬寿第二・第三工場と改良分散式寄宿舍(1918-20年建設)。この地区は職工村の一部を含め1990年頃まで残っていたが、現在「倉敷チボリ公園」などに転換され何も残っていない。この図は『回顧六十五年』(倉敷紡績株式会社、1953)に掲載の2枚の図を石田頼房先生が合成し、修正を加えたものである。

〈裏表紙写真〉

ニュージーランド・ダニーデン、オタゴ半島からの眺め、1998年  
(『二人で歩いた まち・むら・人生』より)